

Oracle Workflow

リリース・ノート

リリース 2.6.2

2002 年 9 月

部品番号 : J06499-01

Oracle Workflow リリース・ノート, リリース 2.6.2

部品番号: J06499-01

原本名: Oracle Workflow Release Notes (Release 2.6.2)

原本部品番号: A95814-02

Copyright © 2002, Oracle Corporation. All rights reserved.

Printed in Japan.

制限付権利の説明

プログラム（ソフトウェアおよびドキュメントを含む）の使用、複製または開示は、オラクル社との契約に記された制約条件に従うものとします。著作権、特許権およびその他の知的財産権に関する法律により保護されています。

当プログラムのリバース・エンジニアリング等は禁止されています。

このドキュメントの情報は、予告なしに変更されることがあります。オラクル社は本ドキュメントの無謬性を保証しません。

* オラクル社とは、Oracle Corporation（米国オラクル）または日本オラクル株式会社（日本オラクル）を指します。

危険な用途への使用について

オラクル社製品は、原子力、航空産業、大量輸送、医療あるいはその他の危険が伴うアプリケーションを用途として開発されておりません。オラクル社製品を上述のようなアプリケーションに使用することについての安全確保は、顧客各位の責任と費用により行ってください。万一かかる用途での使用によりクレームや損害が発生いたしましても、日本オラクル株式会社と開発元である Oracle Corporation（米国オラクル）およびその関連会社は一切責任を負いかねます。当プログラムを米国国防総省の米国政府機関に提供する際には、『Restricted Rights』と共に提供してください。この場合次の Notice が適用されます。

Restricted Rights Notice

Programs delivered subject to the DOD FAR Supplement are "commercial computer software" and use, duplication, and disclosure of the Programs, including documentation, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement. Otherwise, Programs delivered subject to the Federal Acquisition Regulations are "restricted computer software" and use, duplication, and disclosure of the Programs shall be subject to the restrictions in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software - Restricted Rights (June, 1987). Oracle Corporation, 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このドキュメントに記載されているその他の会社名および製品名は、あくまでその製品および会社を識別する目的のみ使用されており、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

目次

はじめに	iii
------------	-----

1 Oracle Workflow リリース・ノート リリース 2.6.2

日本語環境での使用上の注意	1-2
Workflow クライアントについて	1-2
Workflow Configuration Assistant (WFCA) について	1-2
ダイアグラム表示について	1-2
RESET-NLS パラメータについて	1-2
動作保証およびシステム要件	1-3
Oracle Workflow Server のハードウェアおよびソフトウェア要件	1-3
Oracle Workflow Client のハードウェアおよびソフトウェア要件	1-4
一般的な問題と解決方法	1-6
ビジネス・イベント・システムの制限事項	1-6
シングル・サインオン	1-6
構成に関する問題と解決方法	1-7
Oracle Workflow の Database Access Descriptor の作成	1-7
Oracle Workflow Builder のインストール	1-7
Workflow 変換ファイル	1-7
ドキュメントの誤り	1-8
Workflow ディレクトリ・サービスと Oracle Internet Directory の同期	1-8

はじめに

このリリース・ノートでは、Oracle9i Database リリース 2 (9.2) の Oracle Workflow リリース 2.6.2 とそのマニュアルに記載されている機能との相違点について要約します。

関連項目： Oracle9i Database リリース 2 (9.2) のリリース・ノート

Oracle Workflow リリース・ノート リリース 2.6.2

このドキュメントは、次の項目で構成されます。

- [日本語環境での使用上の注意](#)
- [一般的な問題と解決方法](#)
- [構成に関する問題と解決方法](#)
- [ドキュメントの誤り](#)

日本語環境での使用上の注意

Workflow クライアントについて

本リリースの Workflow クライアントは、次の CD-ROM で提供されています。

Oracle9i Database Release 2 (9.2.0.1.0) プラットフォーム共通 Update Kit

インストール方法については、上記 CD-ROM 内の `wfclient` フォルダにある `readmeJA.txt` ファイルをご参照ください。

Workflow Configuration Assistant (WFCA) について

環境変数 `JAVA_HOME` を設定していると、WFCA が起動しない問題があります。WFCA を起動する前に、環境変数 `JAVA_HOME` を設定を解除してください。(Bug#2368589、Tar#1093369.350)

ダイアグラム表示について

データベースのキャラクタセットが EUC の場合、Internet Explorer を使用して Workflow のダイアグラムを表示することができません。ダイアグラムを表示する場合は、Netscape Navigator をご使用下さい。(Bug#2337840、Tar#1090135.350)

RESET_NLS パラメータについて

本リリースでは `RESET_NLS` パラメータは使用できません。(Bug#2452216、Tar#1109203.350)

動作保証およびシステム要件

Oracle Workflow Server のハードウェアおよびソフトウェア要件

注意： Oracle E-Business Suite が使用しているデータベースに Oracle Workflow Server はインストールしないでください。

Oracle Workflow に、Oracle E-Business Suite で新規ワークフローを定義するライセンスがある場合、Oracle E-Business Suite に組み込みの Oracle Workflow Server を継続して使用できます。

Oracle Workflow Server コンポーネントでは、次のハードウェアおよびソフトウェア構成が必要です。

- リリース 9.0.1.2 以降の Oracle9i Enterprise Edition データベース、Oracle Objects および Oracle JVM が、サポートされるサーバー・マシン上にインストールされていること
- Oracle Workflow Server を Oracle ホームにインストールした後に、40MB 以上の空きディスク領域があること
- 128MB 以上のメモリー (256MB を推奨)
- Oracle Net リリース 9.0.1.2 以降
- SQL*Plus リリース 9.0.1 以降
- Oracle HTTP Server リリース 2 (9.2) および mod_plsql がサーバー・マシン上にインストールされていること
- フレーム、JavaScript、Java Development Kit (JDK) バージョン 1.3.1 および AWT をサポートしている Web ブラウザ (Netscape Communicator バージョン 4.76 または 4.7x 以降、Microsoft Internet Explorer バージョン 5.0x または 5.5x など)
- UNIX Sendmail または MAPI 準拠のメール・アプリケーション
- wfdoc262.zip ファイルから Workflow HTML ヘルプを解凍するための解凍ユーティリティ (NicoMak 社の WINZIP など)
- Oracle Workflow Java Function Activity Agent および Workflow XML Loader を実行するための Java Runtime Environment (JRE) バージョン 1.1.8

Oracle Workflow Server を Microsoft Windows NT にインストールする場合は、次のハードウェア構成およびソフトウェア構成も必要です。

- 論理ドライブとして使用可能な ISO 9660 フォーマットの CD-ROM
- Microsoft Windows NT 4.0 以降

Oracle Workflow を Oracle Internet Directory および Oracle Single Sign-On Server と統合する場合は、次のハードウェアおよびソフトウェア構成も必要です。

- Oracle Internet Directory リリース 2 (9.0.2)
- Oracle9iAS Single Sign-On Server リリース 2 (9.0.2)
- Oracle9iAS Portal リリース 2 (9.0.2)
- Oracle HTTP Server および mod_osso がサーバー・マシン上にインストールされていること

Oracle Workflow の通知コンポーネントの 1 つに、通知メーラーと呼ばれるプログラムがあります。このプログラムによって、電子メール経由でユーザーに通知が送られ、応答が解析されます。通知メーラーは、UNIX Sendmail または MAPI 準拠のメール・アプリケーションと直接統合できます。

- UNIX Sendmail 版の通知メーラーは、Oracle Workflow Server のインストール・プロセス中に自動的にインストールされます。UNIX Sendmail は、Oracle Workflow と同じサーバー上にインストールされている必要があります。
- MAPI 準拠版の通知メーラーは、Oracle9i Database Client CD から Oracle Universal Installer を使用して Windows NT PC にインストールされます。メール・サーバーとして動作する PC 上には、Windows NT の MAPI 準拠メール・アプリケーションがインストールされている必要があります。

MAPI 準拠版の通知メーラーは、Oracle9i Database for Windows NT でのみ利用できます。Oracle9i Database for UNIX では利用できません。

注意： 2000 年 6 月 7 日にリリースされた Microsoft Outlook E-mail Security Update は、Oracle Workflow MAPI メーラーで利用される MAPI Common Messaging Calls (CMC) インタフェースをサポートしていません (「OL2000: Developer Information About the Outlook E-mail Security Update」
(<http://support.microsoft.com/support/kb/article/q262/7/01.ASP>) を参照)。その結果、この Microsoft Outlook E-mail Security Update 以降の更新が適用されている場合、Oracle Workflow MAPI メーラーの動作は Microsoft Windows プラットフォームでは保証されていません。Oracle Workflow MAPI メーラーの動作は、Windows XP では保証されていません。

Windows NT/2000 で Workflow を使用する場合は、UNIX 版の Oracle Workflow Notification Mailer を UNIX にインストールして、Windows NT/2000 上で実行するワークフロー・サーバーのデータベースに接続する方法が保証されています。

Oracle Workflow Client のハードウェアおよびソフトウェア要件

Oracle Workflow Builder

Oracle Workflow Builder は、Microsoft Windows 98、Windows 2000、または Windows XP が稼動している PC 上で、ワークフロー定義を作成および編集できる GUI ツールです。PC 上に Oracle Net をインストールしている場合は、ワークフロー定義をフラット・ファイルまたは Workflow データベース・サーバーに保存できます。Oracle Workflow Builder では、次のハードウェアおよびソフトウェア構成が必要です。

- Oracle Net Client リリース 9.0.1.2 以降
- Required Support Files リリース 9.0.1.2 以降
- IBM、Compaq または次の条件を満たす 100% 互換マシン
 - 486 以上のプロセッサ
 - 66 MHz 以上のクロック速度 (90 MHz 以上を推奨)
 - ネットワーク・カード
 - SVGA カラー・モニター
 - 論理ドライブとして使用可能な ISO 9660 フォーマットの CD-ROM
 - Microsoft Windows 98、Windows 2000 または Windows NT
 - Oracle Workflow Builder、Oracle Net Services および Required Support Files をインストールするための 60MB 以上の空きディスク領域
 - 32MB 以上のメモリー (64MB を推奨)

注意： Oracle TCP/IP Protocol Adapter で必要かつ唯一サポートされるのは、Microsoft 社の TCP/IP ドライバのみです。

注意： Oracle Workflow Builder は現在、集中してアクセスされるファイル・サーバーにインストールすることはできず、またネットワーク上で他のクライアント PC と共有することもできません。

通知メーラー

通知コンポーネントの 1 つに、通知メーラーと呼ばれるプログラムがあります。このプログラムによって、電子メール経由でユーザーに通知が送られ、応答が解析されます。通知メーラーは、UNIX Sendmail または MAPI 準拠のメール・アプリケーションと直接統合できます。

- UNIX Sendmail 版の通知メーラーは、Oracle Workflow Server のインストール・プロセス中に自動的にインストールされます。UNIX Sendmail は、Oracle Workflow と同じサーバー上にインストールされている必要があります。
- MAPI 準拠版の通知メーラーは、Oracle9i Database Client CD から Oracle Universal Installer を使用して Windows NT PC にインストールできます。メール・サーバーとして動作する PC 上には、Windows NT の MAPI 準拠メール・アプリケーションがインストールされている必要があります。

MAPI 準拠の通知メーラーは、Oracle9i Database for Windows NT でのみ利用できます。Oracle9i Database for UNIX では利用できません。

注意： 2000 年 6 月 7 日にリリースされた Microsoft Outlook E-mail Security Update は、Oracle Workflow MAPI メーラーで使用する MAPI Common Messaging Calls (CMC) インタフェースをサポートしていません（「OL2000: Developer Information About the Outlook E-mail Security Update」
(<http://support.microsoft.com/support/kb/articles/Q262/7/01.ASP>) を参照）。その結果、この Microsoft Outlook E-mail Security Update 以降の更新が適用されている場合、Oracle Workflow MAPI メーラーの動作は、Microsoft Windows プラットフォームでは保証されていません。Oracle Workflow MAPI メーラーの動作は、Windows XP では保証されていません。

Windows NT/2000 で Workflow を使用する場合は、UNIX 版の Oracle Workflow Notification Mailer を UNIX にインストールして、Windows NT/2000 上で実行する Workflow Server のデータベースに接続する方法が保証されています。

一般的な問題と解決方法

この項では、Oracle Workflow に関する一般的な問題とその解決方法について説明します。

ビジネス・イベント・システムの制限事項

Oracle Workflow ビジネス・イベント・システムを使用しているときに、Oracle9i データベース・サーバー リリース 9.0.1.2 の LOB サポートに関する既知の問題が発生する場合があります (Bug#2258881)。

シングル・サインオン

Oracle9iAS Single Sign-On を使用してサインオンまたはサインオフしてから、Oracle Workflow リリース 2.6.2 を使用したときに問題が発生する場合は、Bug#2302142 の指示を確認してください。

構成に関する問題と解決方法

この項では、Oracle Workflow の構成に関する問題とその解決方法について説明します。

Oracle Workflow の Database Access Descriptor の作成

Oracle Enterprise Manager を使用して Oracle Workflow の Database Access Descriptor (DAD) を作成するときは、「セッション状態管理」を「Stateless-ResetPackageState」に設定することをお勧めします。ただし、既知の問題があるため、DAD を保存するときに次のエラーが発生する場合があります。

Changes not applied. The value: Stateless-ResetPackageState must match with one of the values from the list: [StatelessWithResetPackageState, StatelessWithFastResetPackageState, StatelessWithPreservePackageState].

このエラーが発生した場合は、DAD 定義を保存するための解決方法として「セッション状態管理」フィールドを空白のままにしてください (Bug#2282789)。

Oracle Workflow Builder のインストール

Oracle Workflow では、Oracle Workflow Builder をインストールすると、次の Windows ファイルがインストールされます。

- VB40032.DLL
- regsvr32.exe

Oracle Workflow Builder をインストールすると、Oracle Universal Installer によって、Windows システム・ディレクトリにこれらの既存のファイルが存在するかどうかを確認されます。

- ファイルが存在しない場合は、Oracle Workflow によって提供されるファイルが Windows システム・ディレクトリにコピーされます。
- Windows システム・ディレクトリに古いバージョンのファイルが存在する場合、それらのファイルは Oracle Workflow によって提供される新しいバージョンのファイルで上書きされます。
- Windows システム・ディレクトリ内の既存のファイルが Oracle Workflow によって提供されるファイルと同等以上のバージョンの場合、古いバージョンのファイルはコピーされません。Oracle Workflow Builder では、既存のファイルが使用されます (Bug#2255993)。

Workflow 変換ファイル

リリース 2.6.2 用に更新された Workflow 変換ファイルを取得するには、パッチ 2301967 をダウンロードしてインストールしてください。

ドキュメントの誤り

この項では、ドキュメントの既知の誤りについて説明します。

Workflow ディレクトリ・サービスと Oracle Internet Directory の同期

『Oracle Workflow ガイド』の「Oracle Workflow の設定」の「手順 4 Workflow ディレクトリ・サービスと Oracle Internet Directory の同期」に、WF_LDAP.Synch_all() および WF_LDAP.Schedule_changes() API の実行に使用されるコマンドの例が示されています。本番インスタンスに対してこれらの API を実行するときは、これらのコマンドから次の文を削除する必要があります。

```
wf_log_pkg.WF_DEBUG_FLAG := TRUE;
```